

【第三種郵便物認可】

テラダイ

埼玉の強み

埼玉県人間のテラダイは自動車エンジン向けを中心に製造部品の製造を手がける。溶けた金属を加圧しながら鑄型に注入する「ダイカスト」の技術が強みで、中国やメキシコを含む国内外に5拠点を構える。自動車業界が変革期を迎えるなか、製品の多角化にも力を入れる。

部品は約700度の溶解炉で溶かしたアルミ合金を固めて製造し「全世界で供給される4分の1ほどの自動車に使われている」（寺園智樹社長）。

ダイカスト法を使った自動車向けエンジンの中核部品向けでは国内シェア首位だという。

技術力の高さを象徴す

エンジン向け鑄造部品製造

るのが、2012年に東北大学などと共同開発した「半凝固鑄造セミンソッド」だ。一般的にダイカストは大量生産に適した製法だが、製品内部に空気がまじることもある。セミンソッドは金属をグミのような半凝固の状態に流し込むため、気泡が入りにくい。

セミンソッドを活用すれば、油漏れなどの発生を抑えて不良品の発生率を下げられるほか、製品の精度が高まる利点がある。新しい技術の獲得が顧客層の拡大につながった。

創業は1976年。寺園社長の父、輝雄氏が仲間の技術者と共に立ち上げた。寺園社長が89年に入社するまで2人で切り盛りしていたのが、工場建設や海外展開で現在は従業員約200人、売上高は26億円（20年4月期）に成長した。

自動車業界では電動化や自動運転など「CAS

埼玉

EVシフトや釣り具参入も



自動車エンジンの中核部品向けでは国内シェアの首位に立つ

EVと呼ばれる技術革新が進む。今後は電気自動車向けの部品も海外拠点を中心に強化する方針だ。

新しいモノづくりにも挑戦する。3月には木製の釣り具やキャンプ用品「磨」「技」など「文字レトリ」で展開するほかに、自社ブランド「スローガン」を作ってもらった。寺園社長は「磨」「技」など「文字レトリ」で展開するほかに、大手釣具店チェーン「スローガン」を作ってもらった。寺園社長は「磨」「技」など「文字レトリ」で展開するほかに、大手釣具店チェーン「スローガン」を作ってもらった。

新しいモノづくりにも挑戦する。3月には木製の釣り具やキャンプ用品「磨」「技」など「文字レトリ」で展開するほかに、自社ブランド「スローガン」を作ってもらった。寺園社長は「磨」「技」など「文字レトリ」で展開するほかに、大手釣具店チェーン「スローガン」を作ってもらった。

「脱下請け」を進め、若

(伴和砂)